

●プロ・クリスト ●アフガニスタンのクリスチャン



まだまだ寒いハンブルクですが、鳥のさえずりが一段と美しく響く季節になりました。夜には、ナイチンゲール（夜鳴きウグイス）の美しい子守歌が聞こえてきます。また、我が家の裏庭の3本の大木は、ちょっとした森です。部屋の窓から望遠鏡を使わずに、様々な鳥のバードウォッチングができるのです。かわいいうすたちも、木々の枝をそれは楽しそうに駆けめぐっていますし、下に目をやると、野ウサギたちがはねています。ハンブルクにも遂に春がやってきました！（写真：「クロッカス」吉野輝夫さん撮影）

●プロ・クリスト（3月19日～25日）

ドイツでは、1993年から2～3年ごとに、「プロ・クリスト」という、一週間に渡る大きな伝道大会が行われています。毎回、開催地が変わり、今年はミュンヘンでした。その様子をサテライトで、ドイツを始め、オーストリア、フランス、スイス、イタリア、チェコ、ハンガリー等のドイツ語圏の各地に流されます。私も1997年の大会で、南ドイツのあちこちの教会にて賛美と証しをさせていただいたことがありました。

今年のプロ・クリストへの参加者は、約150万人でした。前回の180万人より参加者は減少しましたが、前回の決心者が29,723人だったのに対し、今回は約43,000人と、前回をはるかに上回りました。その方たちの決心が、その時の感情に流された一時的なものではなく、真実なものでありますように、そして、主が、その方たちを、真にキリストに従う者として成長させてくださいよう、お祈りください。

●アフガニスタンのクリスチャン

ドイツでは、最近、アフガニスタンのクリスチャン裁判のことが大きな話題となりました。もとイスラム教徒であったアフガニスタン人、アブドゥル・ラフマン氏（Abdul Rahman、写真：ideaSpektrum）がキリスト教に改宗したことによって裁判にかけられ、死刑の宣告を受けようとしていたのです。彼は、パキスタンのキリスト教救援団体に働いていた時にキリストを救い主として受け入れました。その後、9年間ドイツに住み、2002年、アフガニスタンに戻りました。



しかし、アフガニスタンでは、イスラム教からキリスト教に改宗した者は、死刑に処せられるそうです。

彼の裁判は、世界中で大ニュースとなり、ドイツのメルケル首相、ローマ法王を始め、世界の著名な政治家やキリスト教団体が、アフガニスタンのカルザイ大統領に釈放嘆願書を送りました。

アブドゥル氏は、裁判にて聖書を指し示し、「この信仰ゆえに死ななければならないのなら、死にます。」と言明しました。

私たちクリスチャンの間では、このことは大きな話題になりました。自分たちなら、彼の立場に立たされた時、どうするだろうか？私自身、教会の姉妹たちとの会話で、「私も、彼のように、絶対キリストを証しするわ」と言明できない自分の弱さを見せつけられました。迫害の時に、死を覚悟してまでキリストに従っていくためには、日々の私たちのキリストとの歩みにかかっていること、神が聖書でお語りになっている天国への希望をしっかりと見つめていること、ヘブル人への手紙11章にも書かれているように、先人たちの生き方から学ぶことの大切さ等を共に話し合いました。「どうぞ、迫害の時に、死を覚悟で主を大胆に証しする者とならしめてください」、と切に祈らずにはおられませんでした。

今、アフガニスタンに住む約一万人のクリスチャンたちは、アブドゥル氏と同じような立場に立たされています。それは、99%がイスラム教徒であるアフガン国民のクリスチャンへの憎悪が、今回の裁判を機に、高揚しているからです。どうぞ、緊迫状態の中にいるアフガンのクリスチャンのためにお祈りください。

ちなみに、アブドゥル・ラフマン氏は3月29日に釈放され、現在、イタリア国内で保護されています。

💠お祈りください💠

●5月からのコンサートツアーの準備のためにお祈りください。何よりも、主がさらに私の霊を導いてくださり、へりくだった奉仕者として備えてくださることを心から願っています。

●コンサートの準備とともに、みことばの学びの時も引き続き保持できますように。今改めて、みことばの深みに、今までにない大きな感動を覚えています。

まことに、みことばは私を生かします。(詩篇 119:50b)

今週から受難週が始まります。

主の前に静まり、主のみ苦しみと十字架の贖いに思いを深める週となりますように。

どうぞ、祝された一週間をお過ごしください。

工藤篤子



P.S.

1. メルマガ82号で掲載させていただいたハンプルクで生まれた芸術家、バルラハの「再会」(復活のキリストと再会するトマス)のキリストの手と足には、釘の跡がしっかり刻まれています。聖書をテーマにした多くの作品を残したバルラハの展覧会、残念ながら京都はもう終わってしまいましたが、現在以下のように展覧会が予定されています。

- ・東京展 4/12~5/28 東京芸術大学 大学美術館
- ・山梨展 6/3 ~7/17 山梨県立美術館

2. 2月にお知らせさせていただいたNYコンサートツアー、まだ若干の余裕があります。参加ご希望の方は、至急、事務局まで、ご連絡ください。(5月15日~23日、39万5千円)